



上期業績と今後の成長ドライバー

テルモ株式会社

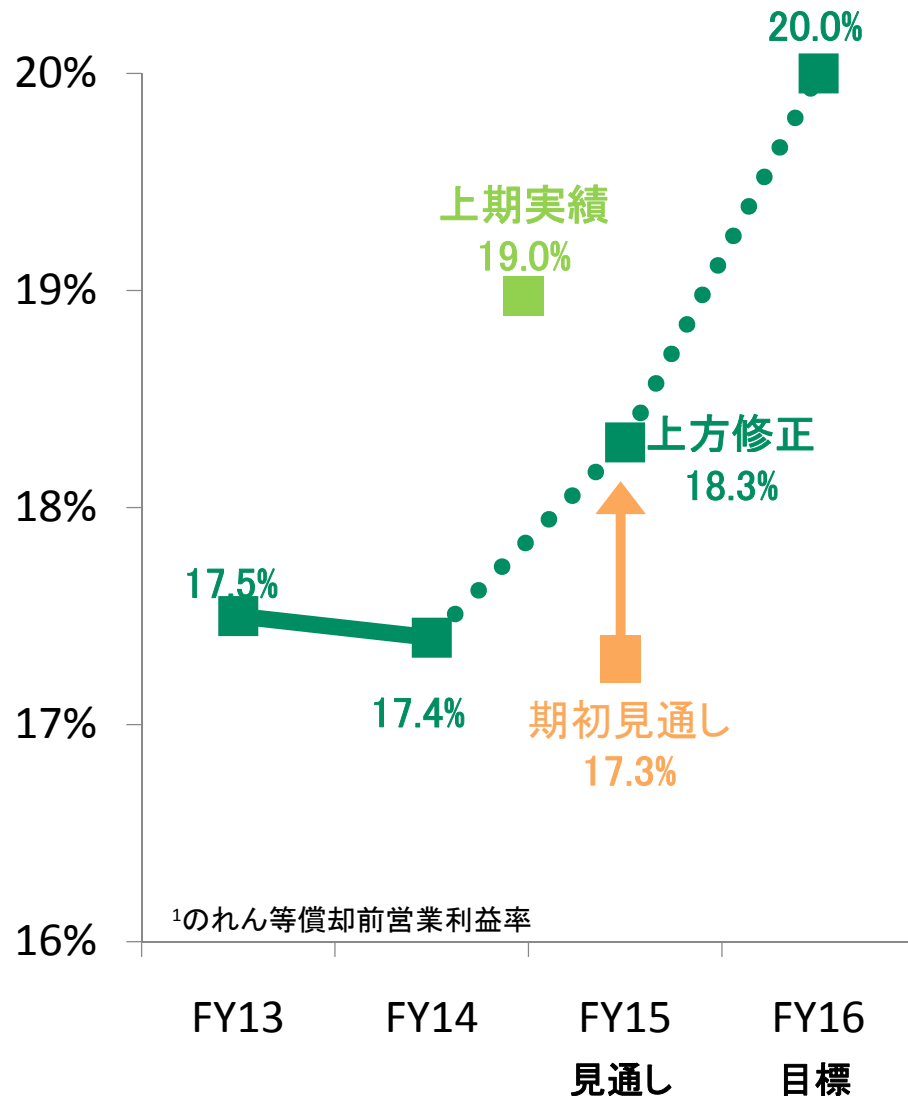
代表取締役社長

新宅 祐太郎

2015年11月5日

今年度の進捗

1FY16営業利益率の目標



前回の説明

- 「20%への軌道の少し下にいる。FY15は本来18%強ないといけない。期中の努力で、できるだけ持ち上げていきたい。」
- 「現時点で、FY16の20%が射程圏内に入ったとは言えない。まずは、FY15の実績で如何に上積みしていくかが第一歩。」



予想以上の成果、見直し上方修正

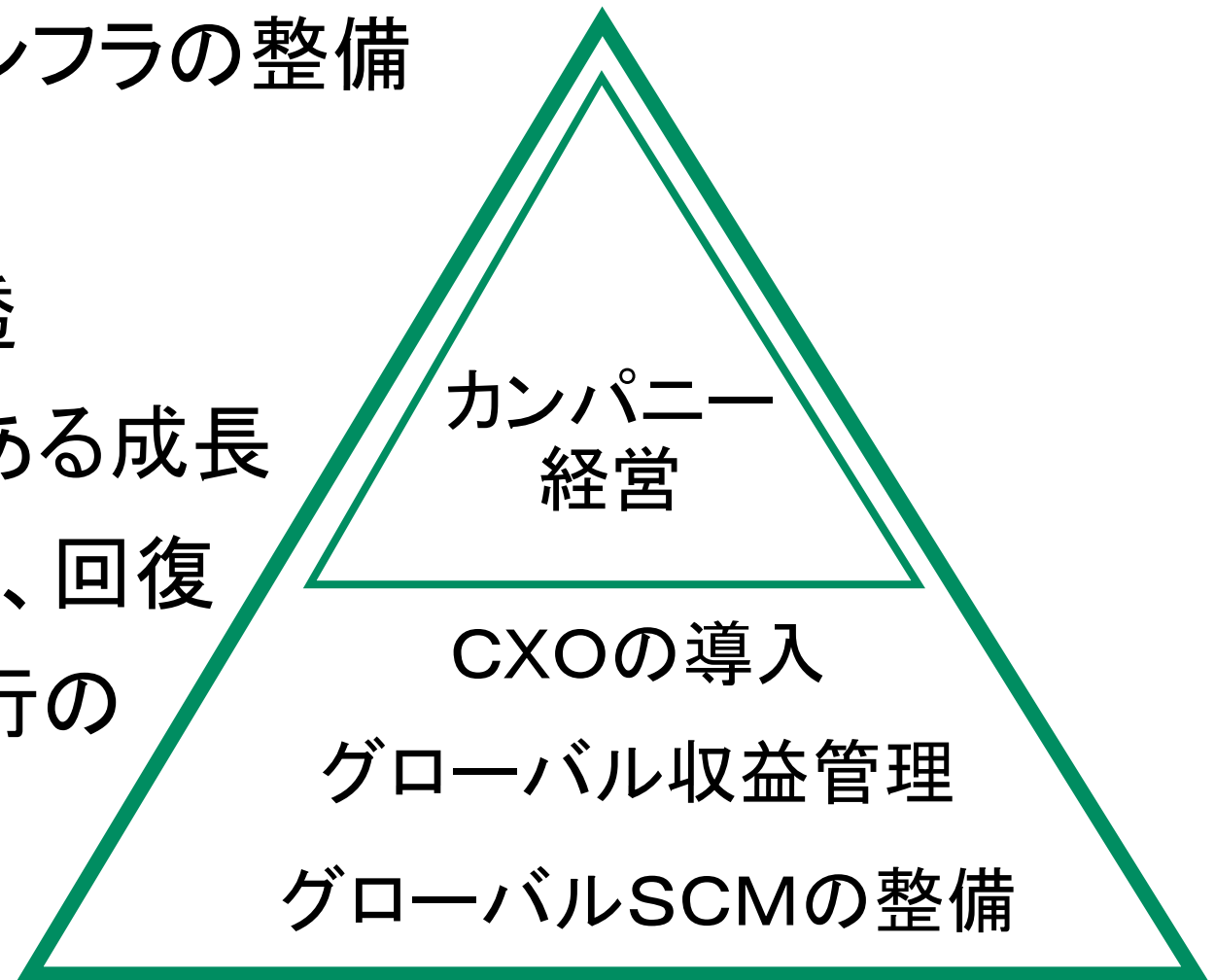
カンパニー経営の整備による収益マインド浸透

■ グローバル経営インフラの整備



■ 収益マインドの浸透

- ✓ 心血：収益性のある成長
- ✓ ホスピタル：安定、回復
- ✓ 血液：新価格移行の遅れ・影響緩和

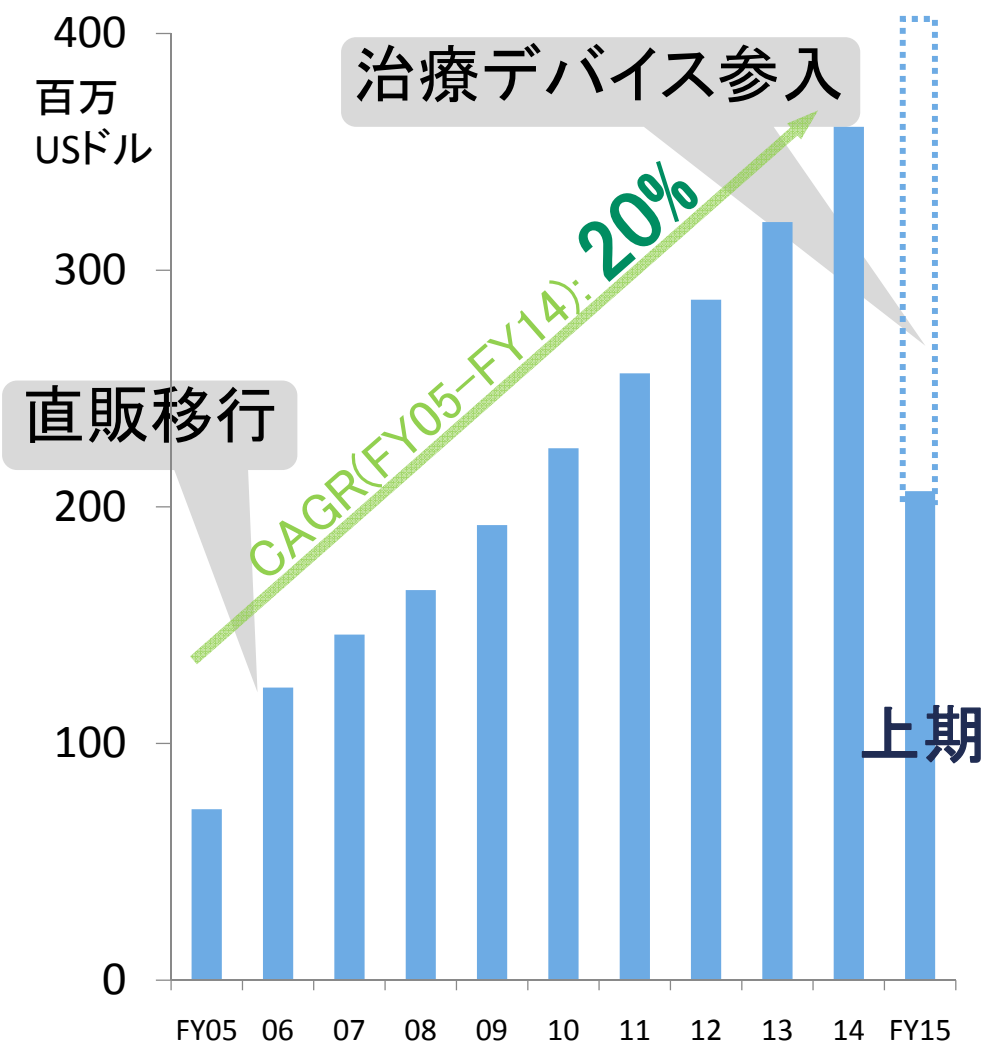


下期、来年度に向けた戦略

- 成長加速を視野に入れた収益マネジメントの継続
- ホスピタル、血液の安定がベース
 - ✓ ホスピタルは回復基調を維持
 - ✓ 血液は軟着陸
- 成長ドライバーの中心は心血
 - ✓ 米国、中国市場でのISの好調持続
 - ✓ 国内Ultimaster、ニューロ新製品の寄与

好調が続く米国・中国 IS事業

米国



中国



おことわり

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。